

各国の入試制度



I. 目的・ねらい

- 世界にはさまざまな入試方法・制度
- 入試制度
 - 教育制度、文化、歴史的背景と密接に関係
 - 国によって違いがある
- 各国の入試制度を紹介
- わが国の入試を相対化し、改善のためのヒントや入試のあり方を考える一助としていただきたい

2

II. 紹介する国: 3回シリーズ 大学入試センター 職員研修セミナー

- 第1回: 9月19日
 - 日本 (林)
 - フランス (夏目:名古屋大学)
- 第2回、第3回: 日程未定
 - ドイツ (今井:青山学院大学)
 - イギリス (山村)
 - アメリカ (石岡)
 - 韓国 (林)

3

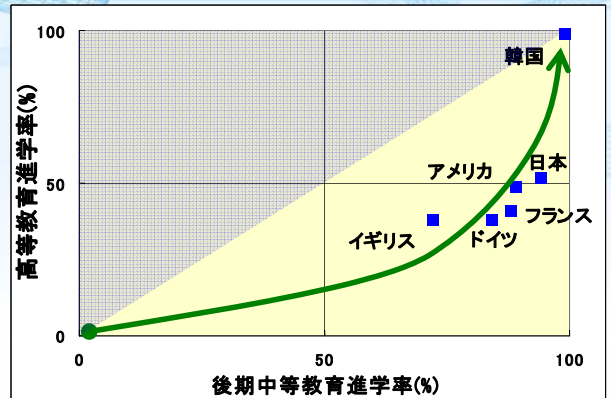


図 各国の後期中等教育進学率
および 高等教育進学率

4

- 中等教育のユニバーサル化
 - 高等教育のユニバーサル化
- ↓
- 学力選抜による接続が困難に
 - どのようにして中等教育と高等教育を接続させるか?
 - それぞれの国で、中等教育と高等教育をどのように接続させようとしてきたか、その制度設計の思想は異なる。
 - 問題の現れ方は同じではない。

5

各国について

- ① 学校教育制度の概要
- ② 入試の流れ
- ③ 共通試験
(名称、出題教科・科目、
出題・解答方式の特徴、採点方法)
- ④ 個別試験
- ⑤ 各国の特徴、最近の動向、
わが国への示唆等

6



09/19/06 @DNC
第2回職員研修セミナー

日本の大学入試制度

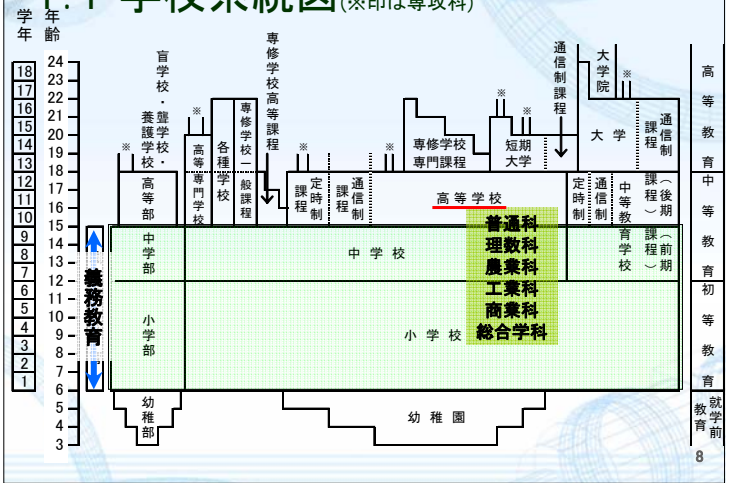
林 篤裕

独立行政法人 大学入試センター 研究開発部

e-mail: hayashi@rd.dnc.ac.jp

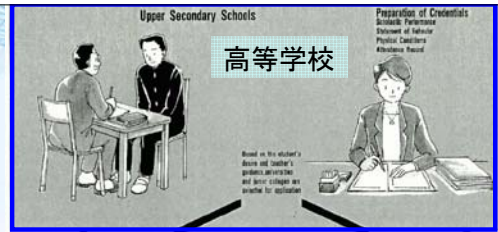
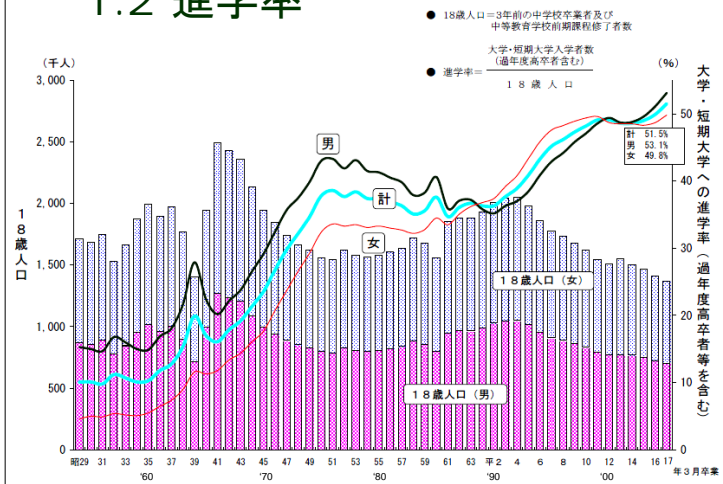


1.1 学校系統図 (※印は専攻科)



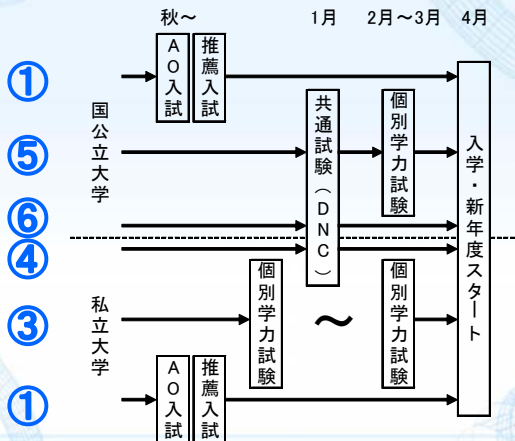
1.2 進学率

進学率の推移



国立大学・公立大学 私立大学

2.1 入試の流れ



2.2 共通試験の特徴(H18)

期日	出題教科・科目 (※は移行措置科目)	試験時間	配点
1月21日 (1日目)	公民 3 現代社会、倫理、政治・経済	60分	100点
	地理歴史 6 世界史A/B、日本史A/B、地理A/B	60分	100点
	国語 1 国語	80分	200点
	外国語 5 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語 ※リスニングテストあり(英語のみ)	80分	200点
1月22日 (2日目)	理科① 4 理科総合B、生物I、総合理科*、生物IA*	60分	100点
	数学① 2 数学I、数学I・数学A	60分	100点
	数学② 5 数学II、数学II・数学B、 工業数理基礎、簿記・会計、情報関係基礎	60分	100点
	理科② 3 理科総合A、化学I、化学IA*	60分	100点
	理科③ 4 物理I、地学I、物理IA*、地学IA*	60分	100点

- 6教科33科目9コマ。マークシート。初出設問。
- 試験利用大学と大学入試センターが共同で実施。

平成18年度からの大学入試センター試験における英語のリスニングテストについて

平成18年1月の大学入試センター試験から、外国語の「英語」を選択する受験者は、筆記試験とリスニングテストの双方を解答することになります。
リスニングテストでは、受験者が監督者の指示に従い、各自に配付されたICプレーヤーを操作して音声問題を聞き取り、解答します。
音声問題は約30分、配点は50点満点です。ただし、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認、音量調節を受験者本人が行うため、試験時間は60分です。
なお、筆記試験は、従前と同様試験時間80分、200点満点です。



ICプレーヤーには3つのボタンと2つのランプ、音量調節つまみが付いています。2つのランプ(赤、黄緑)はICプレーヤー
受験者には問題冊子、解答用紙とともに、ICプレーヤー、イヤホン及び音声メモリーが配られます。

2.2 共通試験の特徴(H18)

期日	出題教科・科目(*は移行措置科目)	試験時間	配点
1月21日 (1日目)	公民 3 現代社会、倫理、政治・経済	60分	100点
	地理歴史 6 世界史A/B、日本史A/B、地理A/B	60分	100点
	国語 1 国語	80分	200点
	外国語 5 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語 ※リスニングテストあり(英語のみ)	80分 30分	200点 50点
1月22日 (2日目)	理科① 4 理科総合B、生物I、総合理科*、生物IA*	60分	100点
	数学① 2 数学I、数学I・数学A	60分	100点
	数学② 5 数学II、数学II・数学B、 工業数理基礎、簿記・会計、情報関係基礎	60分	100点
	理科② 3 理科総合A、化学I、化学IA*	60分	100点
	理科③ 4 物理I、地学I、物理IA*、地学IA*	60分	100点

- 志願者数: 55.1万人、受験者数: 50.6万人。
- 利用大学: 82/72/440/133大学(国/公/私/短)
- ※参考: 大学数:(87)/(86)/553/480 (H17.5月。学校基本調査)

2.3 共通試験の作題

- 大学入試センターが委託した問題作成委員(大学の教員)が2年間をかけて作成
- チェックを行なう委員会(高校教員を含む)が別途あり、問題の質の維持向上に寄与

15

2.4 個別学力試験

- 各大学で必要と認めた試験を別途用意して実施。
- 筆記試験だけではなく、小論文、実技、面接等も。
- 推薦入試に加えAO入試も盛んに導入され、その比重が増している。
- 私大一般入試の入学率: 5割を切る
 - 産経新聞 平成18年9月13日

16

アドレス http://www.sankei.co.jp/news/060913/sha007.htm

Google 産経新聞 平成18年9月13日

社会

私大入学者、一般入試の半数割る AO・推薦拡大

面接などで合否を決めるAO入試や推薦入試の拡大で、一般入試により私立大学に入学する受験生が、来春の入試から2人に1人を割り込む見通しであることが文部科学省のまとめで12日わかった。少子化で大学志願者数が総定員を下回る「大学全入時代」が目前に迫るなか、大学入学後の教育や受験勉強の在り方にも影響を与えそうだ。

文科省によると、毎年約60万人で推移する大学入学者のうち、私大生は約7割を占める。一般入試による私大入学者は、平成11年度入試で64.8%を占めていたが、AO入試や推薦入試の拡大で年々減少。今春は50.5%となり、現役の高校3年生が臨む来春の入試では半数を割り込むことがほぼ確実となった。

大学受験予備校「早稲田塾」では、推薦入試は6割程度に落ち着くものの、AO入試は将来、約1割近くまで伸びるため、一般入試の入学者は4割程度になると予測。同校では既に、教科指導とは別に、AOや推薦入試向けの「プレゼンテーション」「志望理由書対策」などの講座を設けているという。

大手予備校「代々木ゼミナール」では「学生を勉強に駆り立ててきた受験の「推進力」が徐々に減退し、『勉強しない受験生』と『勉強する受験生』に分かれていく。高校教育も二極化し、大学は入学後の補習教育が大変になっていく」と分析している。

3 他の国と比較して独自の点

- 数学のマーク方式:
SAT(米)にも同様の形式: grid-in
- 分離分割方式(前期日程、後期日程):
今後は流動的?
- 日本の大学入試制度
 - 他の国と比較する際の参考に
 - リファレンス

18